



日本初のコンテンポラリーダンス作品を神戸で上演

イスラエルの巨匠 オハッド・ナハリン振付「Kamuyot」

貞松・浜田バレエ団は、2月25・26日にコンテンポラリーダンス作品「^{カムヨット}Kamuyot」を上演します。この作品は、世界的に有名な振付家オハッド・ナハリン氏の振付で、日本で上演されるのは初めてです。ナハリン氏の作品を日本で唯一レパートリーにする貞松・浜田バレエ団が、世界で評価される作品を地元神戸で2日間に渡ってお届けします。



Photographer - Gadi Dagon
Dancers - Ensemble BatSheva
Courtesy of the BatSheva Dance Company

「Kamuyot」バットシェバ・ヤング・アンサンブルによるパフォーマンスの様子

クラシックバレエカンパニーとしての実績と共に、コンテンポラリーダンスのパフォーマンスにおいても高い評価を得てきた貞松・浜田バレエ団。今回でシリーズ34回目となる「創作リサイタル34」で上演するのは、イスラエルのダンスカンパニーで創作されたエネルギー溢れる作品「Kamuyot」。イスラエルでは年間に100公演以上、学校公演としてこのプログラムが上演されるほか、国外での上演実績もあり、その芸術性ととも社会性も高く評価される世界的な作品です。この作品を踊る貞松・浜田バレエ団のダンサーたちの熱気を、ぜひKIITOホールで感じてください。

貞松・浜田バレエ団 創作リサイタル34 「Kamuyot」

上演日時 : 2023年2月25日(土)・26日(日)

14:00 開演 (13:15 開場)

場所 : デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITOホール

URL : <http://sadamatsu-hamada.fem.jp/schedule/>



※マスコミ関係者様のご招待席をご用意しております。お問い合わせ先までご連絡ください。

「コンテンポラリーダンス」と「バットシェバ舞踊団」

「コンテンポラリーダンス」とは、広義に「表現方法や型に制限のない自由で現代的なダンス」と解説されることが多い。バレエやヒップ・ホップ、社交ダンスなどに対し、特定のメソッドやルールを持たないものが多く、映像を組み合わせたり、野外で自由に踊る身体表現を指すことも。ストーリーの有無や、作品の抽象度もそれぞれに異なる。そんなコンテンポラリーダンスのカンパニーのひとつ、イスラエルにあるバットシェバ舞踊団。イスラエルは、コンテンポラリーダンスをはじめアートが盛んな国として世界的に有名で、中でもバットシェバ舞踊団は国外からのダンサーも多く在籍する世界トップのダンスカンパニー。今回の「Kamuyot」は、カンパニーが2つに分類されるうち、若手のダンサーが在籍する「バットシェバ・ヤング・アンサンブル」のメンバーがオリジナルダンサーの作品。本作では、ダンサーたちを四方から囲んで鑑賞するなど、クラシック・バレエなどと大きく違ったスタイルも魅力。

振付家 オハッド・ナハリン



Photo by Gadi. Dagon

イスラエル ミズラ出身の振付家。1974年バットシェバ舞踊団に入団、ダンサーとして活動を始め、1980年NYにて振付家としてデビュー。1990年から2018年まで、バットシェバ舞踊団の芸術監督を務める。1990年芸術監督就任と同時に、若いダンサーのためのジュニアカンパニー「バットシェバ・ヤング・アンサンブル」を設立。2018年芸術監督退任後、現在もバットシェバ舞踊団の常任振付家として活躍。これまでに30以上の作品をバットシェバ舞踊団、ヤング・アンサンブルのために創作した他、世界中の著名なバレエ団が彼の作品を上演する。創作活動に加え、バットシェバダンサーの日常的なトレーニングであり、ムーブメントの新たな可能性を探すメソッド「^{ガガ}GAGA」を考案。「GAGA」は、ダンサーだけではなく、あらゆる人に向けて開かれたムーブメントで、世界的に広まっている。

オハッド・ナハリンのムーブメント・ランゲージ「GAGA」

オハッド・ナハリンが考案したメソッド「GAGA」は、ドキュメンタリー映画を通して世界に広く知られた。2015年に公開された映画「ミスター・ガガ」は、ナハリンに8年間密着したドキュメンタリー映画で、サウス・バイ・サウスウエスト国際映画祭など、多数のフィルムフェスティバルで受賞歴があり、世界的な評価を得た。

ナハリンは、独自の身体能力開発メソッドを考案し、「GAGA」と名付けて、ダンサーだけではなく、全ての現代人の身体感覚や直感的な感性を目覚めさせてきた。「Kamuyot」は2003年にテルアビブで世界初演を迎えたが、オリジナルダンサーはもちろん、日々「GAGA」メソッドでトレーニングを積むダンサーたち。今回の創作リサイタル34「Kamuyot」を踊るバレエ団のダンサーたちも、本作のリハーサル期間中は「GAGA」トレーニングを行う。

貞松・浜田バレエ団の「創作リサイタル」初上演は1980年。世界で注目される振付家の作品を多く上演してきた本公演のシリーズは今回で34回目で、これまでに文化庁芸術祭大賞などを受賞してきた。

今回上演する「Kamuyot」は、日本で唯一オハッド・ナハリンの作品をレパートリーにする貞松・浜田バレエ団が、日本で初めて上演する作品となる。



創作リサイタル34 オハッド・ナハリン振付「DANCE」より
撮影：田中聡（テス大阪）

貞松・浜田バレエ団 概要

1965年3月結成。神戸を拠点とするバレエ団。クラシック・バレエを基本に、古典作品と創作作品を活動の両輪に、公演を続けている。これまでの公演総回数は1,000回を超え、兵庫県文化賞、文化庁芸術祭大賞などを受賞。また、地域に根ざした小中高校の視聴覚教育の一環として、1967年よりはじめた学校巡回公演は、700回を超える。バレエ学園でのダンサー育成にも注力し、プリ・ド・ローザンヌ受賞者など、優秀なダンサーを多数輩出する。



貞松・浜田バレエ団公演「コッペリア」より
撮影：小林愛（テス大阪）

本件に関するお問い合わせ先

(一社) 貞松・浜田バレエ団 神戸市灘区畑原通3-6-6

TEL : 078-861-2609 E-mail : production@shballet.or.jp (担当：古川)

バレエ団HP : <http://sadamatsu-hamada.fem.jp/index.html>